

ガス燃料推進 自動車運搬船



2021

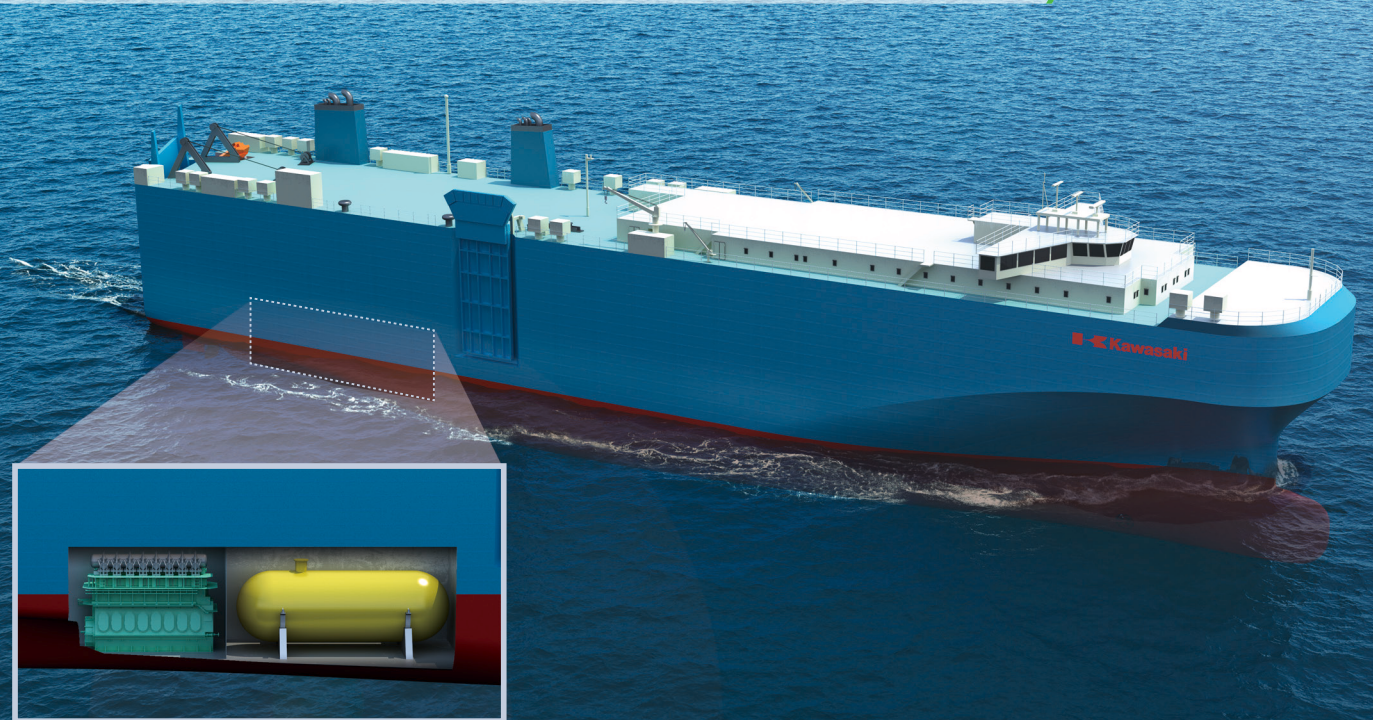
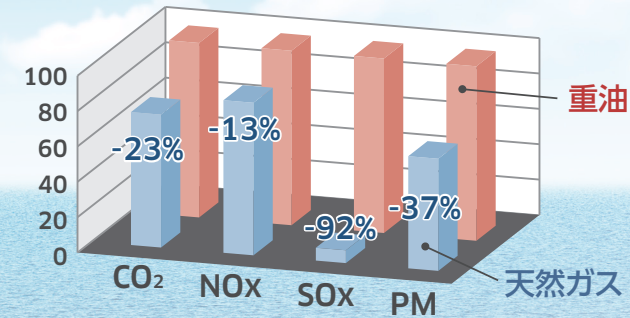
Kawasaki
Ecological Frontiers
S class

2015年：初回登録

川崎重工業株式会社

天然ガス焚き主機関・発電機を搭載し、
CO₂、NO_x、SO_xを大幅に削減した
自動車運搬船

主機関 (ME-GI) の搭載により、CO₂ 23%、NO_x 13%、SO_x 92%、PM 37% を削減しました。
LNGタンクからの独自の天然ガス供給システムにより、ボイルオフガスもムダなく利用しています。



製品紹介

大型商船である自動車運搬船としては、世界で初めて船用燃料油及び天然ガスを燃料として使用可能な2元燃料2ストロークディーゼル主機関 (ME-GI) 、発電機 (DFD) 及び2元燃料補助ボイラを搭載した3,800台積自動車専用船

特長

- 2元燃料2ストロークディーゼル主機関 (ME-GI) の搭載により、従来の油焚き主機関よりもCO₂を23%、NO_xを13%、SO_xを92%、PMを37%削減
- 低速度域における推進性能を最適化し、実使用速度域 (低速域) の推進馬力を約3%削減
- ボイルオフガスの有効利用システムの構築により、タンクを含むシステム全体で約15%重量低減